

開講科目名 Course	国際経済論研究 (B) / International Economics (B)
時間割コード Course Code	13890
開講所属 Course Offered by	会計学研究科博士前期課程 /
開始年度・学期 Start Year・Semester	2022年度 / Academic Year 後期
曜限 Day, Period	火 / Tue 3
開講区分 semester offered	後期 / .
単位数 Credits	2.0
学年 Year	1,2
主担当教員 Main Instructor	牛山 隆一
科目区分 Course Group	関連科目
教室 Classroom	6 4 C 演習室
講義形式 Lecture Style	講義科目
担当教員名 Instructor (担当教員所属名 Affiliation)	牛山 隆一 (経済学部)
授業の目標	本講義は、「国際経済と企業の関わり」という視点から学習を進める。企業が海外へ事業を展開することを説明する理論を習得するとともに、日本企業や外国企業の多国籍化のプロセスや実態について理解を深める。国際経済の主要プレーヤーである多国籍企業がどのような戦略の下で越境経営を進めているのか、また、それらの動きが国際経済にどのような影響を及ぼしているのか考察する。
授業の概要	前半部分では販売や生産、子会社など様々な側面から企業の海外展開を説明する理論を主に習得する。後半部分では日本企業の海外戦略を時期別に詳細に分析するとともに、諸外国の多国籍企業の発展プロセスや特徴について欧米、アジアNIEs・BRICs、ASEANといった地域別に学習する。
評価方法	期末レポート
教員の指導に従わない以外の事由による失格基準	特になし。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション 2. 国際ビジネスの歴史 3. グローバル経営論 (販売拠点) 4. グローバル経営論 (生産拠点) 5. グローバル経営論 (子会社) 6. グローバル経営論 (グローバル企業の特徴) 7. グローバル経営環境(政治, 社会, 自然, 市場, 競争) 8. 日本企業の海外戦略 (~1980年代) 9. 日本企業の海外戦略 (1990年代~2000年代) 10. 日本企業の海外戦略 (2010年代~) 11. 海外多国籍企業の動向 (概観) 12. 海外多国籍企業の動向 (欧米) 13. 海外多国籍企業の動向 (アジアNIEs, BRICs) 14. 海外多国籍企業の動向 (ASEAN) 15. 全体のまとめ
テキスト	指定しない。
参考書	授業の際に紹介する。
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等	含む
アクティブラーニング、ディスカッション、実習等の内容	

実務経験のある担当教員による授業	該当しない
担当教員の実務経験を活かした授業の内容	
質問への対応方法	随時対応。
フィードバックの方法	随時対応。
予習・復習等、準備学習の内容及び時間	予習はテーマに応じ、関連文献を読んで準備する。復習の方に重点を置き、授業内容の整理を行い、理解を深めることが重要。
使用言語	日本語
SDGs 17の目標（1～10）	
SDGs 17の目標（11～17）	
PROGリテラシーの要素	
PROGコンピテンシーの要素	